

# 新型コロナウイルス(COVID-19)ワクチン



## 接種後の乳がん検診について



乳がん検診は、ワクチンを接種した場合、**接種後6週間以上の間隔をあけて**受診されることをお勧めしています。ただし、上記期間内であってもご本人様の意思により検査実施は可能です。

新型コロナウイルス(COVID-19)ワクチン接種後に、特に接種した腕の脇が腫れる反応性リンパ節腫大が認められる例が報告されています。これは、体内に入ったワクチンに対して反応性の変化が起きているため、通常は時間の経過とともに改善し、特に治療は必要とされません。一方で、通常の乳がん検診でのマンモグラフィや超音波検査では、腋窩リンパ節が明らかに大きい場合、精密検査が必要と判断されることがあります。

そのため、半田市医師会健康管理センターでは乳がん検診を受診される際には、ワクチンを接種した場合、接種してから6週間以降に検診を受けられることを推奨いたします。ただし、ワクチン接種後上記の期間内であっても、ご本人様の意思により検査を受けていただくことは可能です。

**\*画像診断の際の参考とするため、検査前にスタッフにより乳がん検査対象の方へワクチン接種歴および接種部位を確認させていただきますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。**

お問い合わせ先

知多市健康推進課（保健センター）  
TEL 0562-54-1300